自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

静岡県教育委員会
教育広報紙

Eジャーナルしずおか

平成28年（2016年）
7月5日
火曜日
第174号

発行・編集　教育政策課　〒420-8601　静岡市葵区追手町9番6号　TEL 054-221-3168　FAX 054-221-3561　E-mail　kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

子どもの学びを地域と共に
〝学校支援地域本部〟

県教育委員会では、社会総がかりで子どもを育む環境づくりの一環として、学校支援地域本部の設置を推進しています。学校支援地域本部は、学校が支援を必要とする活動について、地域コーディネーターが中心となり、地域の方々が学校を支援する仕組みです。地域コーディネーターは、実際の支援活動の準備や運営、参加ボランティアの調整等を行います。

地域の力を学校に！

清水町立西小学校支援地域本部は、石川喜勇コーディネーターが中心となり、学校とボランティアが連携し、様々な支援活動を行っています。その一つに、外国人児童を対象とした日本語学習の補助があります。個々の能力に応じて課題に取り組む児童にボランティアが寄り添い、ことばの発音や筆記を丁寧に指導しています。同校では、図書室の整備や授業参観時の託児等の支援活動も行われています。

日本語学習の支援（清水町立西小学校）

清水町では、全小中学校に配置されているコーディネーターによる連絡会を開催しています。コーディネーター同士の連携から、清水町立南小学校を会場として清水町立南中学校吹奏楽部の演奏会が開かれるなど、学校間の交流が実現しました。地域の力によって、子どもたちの学びが一層深まっています。

豊かな地域資源の活用

牧之原市学校支援地域本部は、地域の特性を生かした取組を進めており、牧之原市立萩間小学校では、毎年3年生による茶摘み体験が行われます。茶園農家の方の指導を受けながら摘んだ茶葉は、学校に戻って天ぷらにします。油を使う調理が初めての児童でも、ボランティアの手助けのおかげで、風味豊かな天ぷらを作ることができました。

茶葉の天ぷらを調理（牧之原市立萩間小学校）

牧之原市内の学校では、地域住民の支援を受けながら、牧之原台地開拓の歴史を学ぶ授業の一環として、児童が切り株を掘り起こす「開墾体験」や、地元産のお茶に親しみながら茶道を学ぶ「お茶教室」なども行われています。横山眞一（榛原地区担当）、八木順子（相良地区担当）の各コーディネーターは、「花育」（花や緑に親しむ機会を通して、感受性を育む活動）の取組を学校に呼び掛けるなど、学校と地域の連携をより一層推進していきたいという熱意を持って支援活動に取り組んでいます。

豊かな学びの創造

子どもたちの学習意欲を高め、探究心を育むとともに、規範意識やコミュニケーション能力の向上、郷土への愛着心の醸成等につながる「豊かな学び」を創造するため、学校と地域が一体となった教育活動が求められています。学校支援地域本部は、地域と共に、子どもの豊かな学びを支えています。

【社会教育課】

参加者募集中！「第2回静岡県高等学校ビブリオバトル」

発表者が推薦する本の紹介を制限時間内に行い、観戦者の投票によって「チャンプ本」（最も読みたくなった本）を決定する「ビブリオバトル」。その第2回大会が、9月17日（土）、県立中央図書館を会場に開催されます。

前回大会では16人の発表者の中から、浜松市立高等学校の小島心さんが紹介した「モンスター」（百田尚樹著）がチャンプ本に決定し、小島さんは、今年1月に東京で行われた全国大会に出場しました。

さて、今回の「チャンプ本」はいったいどんな本になるのでしょうか。現在、高校生の参加者を募集しています。大会への申込方法などの詳細は、県内高等学校に配布したチラシか「読書県しずおか」のホームページをご覧ください（申込書は同ホームページからもダウンロードできます）。なお、観戦は申込不要です。（ただし席に限りがあります。）

皆さんの熱い発表、そして声援で、大会を盛り上げていきましょう！

【ビブリオバトル公式ルール】
- 発表者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- 順番に一人5分間で本を紹介する。
- 発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- 全員の発表後「どの本が一番読みたくなったか」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

【社会教育課】

校内研修でチア・アップコンテンツを活用しよう！

県教育委員会では次の目的の下、全国学力・学習状況調査を活用した早期対応に平成26年度から取り組んでいます。

①8月に予定されている文部科学省による調査結果の発表を待たずに、各学校が独自に採点・集計及び分析を行い、早期に自校の実態を把握し授業改善に生かすことで、児童生徒の学力保障につなげる。

②調査問題の採点を通して、今求められている学力について教員が理解し、校内研修や日々の授業改善に生かすことで、資質向上を図る。

③県及び市町教育委員会は、児童生徒の解答の状況や集計結果から、教育施策の成果と課題を検証し、児童生徒の学力向上対策に活用する。

チア・アップコンテンツは、早期対応の一環として既存のチア・アップシリーズ（チア・アップシート、チア・アップファイル）同様、先生方が全国学力・学習状況調査の問題や結果を授業改善に生かすために作成された校内研修用資料です。本年度の調査問題・質問紙から見えてくる本県の子どもたちの現状、今求められている学力などについて掲載しており、夏休みの校内研修で使用し、9月からの授業改善に活用できる内容となっています。

県教育委員会では、昨年度からこのチア・アップコンテンツ（校内研修用）を紙媒体の提供ではなく、動画コンテンツとして総合教育センターHPに掲載し、配信してきました。今年度は、7月初旬の配信を予定しています。動画コンテンツは、本県が掲げるICT教育の充実に資するものであり、視覚的なインパクトにより短時間で効果的な情報共有、情報活用が期待できます。

様々な学校現場の状況を考慮し、先生方全員で視聴できるよう国語、算数・数学、総合（質問紙調査）の3つのコンテンツを計20分程度で編集しました。教科や学年の枠を超え、学校全体で課題を共有していただけるものと期待しています。

【義務教育課】

平成28年度チア・アップコンテンツ（校内研修用）

平成28年度
全国学力・学習状況調査

先生のための
チア・アップコンテンツ

【算数・数学】

静岡県教育委員会

意味理解の問題　～計　算～

H28　算数A　1 (1)　早期対応正答率 63.8

正しいものはどれですか。□には0でない数が入ります。

□÷0.8の商は，□より
①大きい　2 小さい　3 同じ

わり算だから…

実践NOTE 347

生徒が自ら主体的になる授業工夫の実践報告

伊豆の国市立韮山中学校　教諭　塩谷 英則

著者

「できないこととやらないことは違う」「できない人がいるから、先生がいる」私の授業のオリエンテーションでは、このことをまず生徒に伝えています。すると、生徒から「できないからやらないではなく、できなくても挑戦してやっていきたい」「先生ができない人を応援してくれると言ったので、私は諦めずに挑戦したい」といったコメントが聞かれるようになります。私はこの意欲の向上を大切にし、生徒が主体的に臨めるような授業づくりを常に考えています。楽しい雰囲気の中で意欲的に運動する生徒たち。教師の工夫一つで授業は変わると思い、これまで取り組んできました。今回は、その実践をまとめました。

1 ICTを用いた授業

○ゲーム時の様子を確認

バスケットボールでは、ゲーム全体を撮影し、動きの良い生徒のプレーを全員で確認しました。生徒の良いプレーをほめることと同時に、そのプレーにつながる動きをクラス全員で共有することで、学習課題を焦点化し克服しやすくなりました。

○個人技の修正

マット運動や柔道では、個々の動きを撮影した映像をスローで再生することで、本人が細かな動きの確認をすることができ、より早く技を習得することができました。

2 時代にあった教材選び

○ダンス授業（1年生）

ダンスでは、ステップの基本となる『ランニングマン』やCMの踊りを利用して授業を展開しました。生徒が興味を持てるよう流行を取り入れることで、意欲が高まり、主体的に楽しく学ぶ姿勢が見られました。さらに、YouTubeなどの映像を利用することでダンスに必要な動きをより簡単に学ぶことが可能となりました。

『ランニングマン』に挑戦

3 段階的なバレーボール指導

バレーボールでは、段階的な指導を実施することで、生徒の意欲と技術がより高まるよう工夫しました。いきなり正式なルールの下でゲームをしようとしても、生徒は思うようにボールを扱うことができず、やる気も沸いてきません。

そこで、1年次では、「ボールを正確に操り、パスすること」を目標にオーバーハンドパス、アンダーハンドパスを身に付けながら、テニスバレーボール（ワンバウンドでも良い）でゲームを行いました。1対1のゲームを、バレーコートの6分の1の広さで実施し、ネットの代わりに紐を使用しました。個人技が高まったところで2対2、3対3という形で人数を増やしていきます。3対3のゲームからネットを使用し、バレーコートも2分の1の広さで実施します。このような流れで行うことで、技術だけでなく、仲間との関わりも高めていくことができました。

2年次では「スパイクを打てるようにしよう」という学習課題を設定し、スパイクキャッチバレーを実施しました。キャッチバレーの第一段階ではレシーブはキャッチし、キャッチしたボールをセッターへ、セッターは、受け取ったボールを上げてスパイクにつなげます。第二段階では、セッターがボールを一回自分で上げてからトス、第三段階では、打つ人から直接出されたボールをトスと、レベルアップを図りながら実施しました。また、どの段階のルールを適用するかは生徒のレベルに合わせて、集団ごとに変えるようにしました。このような形で実施したことで、全員がスパイクを打つチャンスが増えました。バレーボールの醍醐味であるスパイクを打つ経験をすることで、多くの生徒がバレーボールの楽しさを実感することができたのではないかと思います。

段階的バレーボール指導

4 まとめ

子どもたちが楽しみながら身体を鍛え、技術を高め、仲間との関わりを深めることができる環境づくりを考えてきました。今後も体育の楽しさの中で子どもの体力や技術はもちろんのこと、人間力の向上を図れるように授業研究を進めていきたいと思います。

実践NOTE 348

人と豊かに関わり合いながら、未来を拓く子どもの育成

磐田市立豊岡南小学校　教諭　澤井 信広

著者（中央）

障子を開けてみよ、外は広いぞ

これは、豊田佐吉（トヨタ自動車創設者）の言葉です。現代がグローバルな世界だからこそ、この言葉に込められた理念の尊さを改めて感じます。

とよおか学府（豊岡中学校区）では、地域の子どもたちの課題を、「一歩踏み出して人と関わり、自分を表現できる力」と捉え、GC（グローバル・コミュニケーション）科を新設しました（平成25年文部科学省特例校認定）。それ以来、学府の一貫教育で取り組んでいます。以下、GC科の「人間関係づくり」と「英語」の活動について、昨年度担任した6年生における実践を紹介します。

「話す・聴く」スキル

豊かな人間関係を築こうとする姿勢やそのためのコミュニケーション力を備えた子どもを育成するために、子どもたちの「話す・聴く」スキルを高めていくことが大切です。

その手始めとして、「人間関係づくり」の活動に、マイクを使ったインタビュー形式の話し合い活動「パートナー・インタビュー」を取り入れました。マイクを使うことで、聞き手はインタビュアーになります。相づちを打ったり、受容的・共感的な言葉を掛けたり、相手の発言を引き出す質問をしたりするなど、話し手が気持ちよく思いを伝えられるような工夫や努力を意欲的に行う姿が見られました。そして、インタビュアーが作り出した話しやすい雰囲気に呼応するかのように、話し手は滑らかに思いを伝えられるようになりました。

活動を繰り返す中で、子どもたちは、聴くことの大切さやコミュニケーションを取り合うことの楽しさを実感していきました。次第に、マイクがなくても、学んだソーシャル・スキルを自然に使うことができる児童が増えました。それは、日常生活や他教科での学習にも反映され、相乗的な学習効果を生み出しました。

パートナー・インタビュー

英語活動におけるペアリング

英語活動における子どもの表現力には個人差が大きく、より多くの友達との交流を意図した自由交流を行っても、交流する友達が固定されがちになるという実態がありました。

そこで、英語活動に対する意識や英語力、交友関係、性別などを基に、日常の交友関係だけに頼らないペアリングを意図的にすることで、様々なタイプの児童とコミュニケーション活動を行えるようにしました。

例えば、英語力のある児童同士がペアを組むと、スムーズに活動が進み、コミュニケーションの楽しさを感じます。また、英語力のある児童と英語が苦手な児童がペアを組むと、活動に少しの停滞は起こりますが、英語力のある児童が相手の言いたいことを引き出したり、相手を気持ちよくさせるリアクションを取ったり、また、英語が苦手な児童が率先してペアの児童から学ぼうとしたりするなど、活動に新たな楽しさや価値が生まれていきました。そのことを学習の振り返りの時間にシェアリングすることで、コミュニケーションの取り方や、それに関わる新たな英語表現を学ぶことにつながりました。

このように、様々なタイプの仲間との意図的なペアリングにより、子どもたちは、相手に応じてどのようにコミュニケーションを取れば双方が楽しめるのかを学ぶことができました。

英語活動におけるペアリング

GC科のこれから

子どもたちの活動の振り返りに、「GC科の授業を行うと、友達との仲が深まる」と書かれていました。GC科の学習により、子どもたちが人と関わることを前向きに捉えてくれていたことに喜びを感じました。

子どもたちは、今後、様々な価値観を持った人と出会います。だからこそ、授業では、たとえ友達同士であっても、違いを乗り越え、豊かな人間関係を築くことのできる仕掛けを施すことが必要だと考えます。今後も、GC科の研修を推進させ、「人と豊かに関わり合いながら、未来を拓く子どもの育成」に努めたいと思います。

グランシップ施設見学をご活用ください！

グランシップでは、子どもたちに地域の文化施設に親しみを持ってもらうため、小中学生・高校生等の施設見学を積極的に受け入れています。グランシップサポーター（ボランティアスタッフ）の案内により、その日に空いているホールや会議室等をはじめ、普段は立ち入ることのできない屋上や機械室、音響・照明の操作室等も見学していただけます。また、職場体験学習の受け入れも行っており、グランシップ職員や舞台技術スタッフから仕事についての説明を受けたり、実際に業務を体験することも可能です。

子どもたちにとっては、普段とは違う「仕事」としての文化芸術に触れる絶好の機会です。ぜひ、グランシップ施設見学をご活用ください。

見学のお申し込みにあたって特別な費用は必要ありませんが、ホール見学は会場に空きがある場合に限ります。あらかじめご了承ください。

申・問（公財）静岡県文化財団総務課
TEL 054（203）5710

気温が上昇し、湿度も高いこの時期、最も重要なことは熱中症対策です。3食バランスのよい食事や十分な睡眠をとることが、生活リズムを整え体の疲労回復につながります。【福利課】

地域と共に特色化に取り組む高校の紹介
～川根高校～

川根高校とその地域

県立川根高校は、川根本町にあり、大井川の清流と南アルプスの大自然を背景に、静かな学習環境に恵まれています。

地元の川根本町が、人口減少の課題を抱える中、川根高校も徐々に生徒数が減少し、現在、全校生徒が152人、一学年2クラスの小規模校となっています。

川根留学生制度

川根高校では、平成26年度から「川根留学」と称して、県内各地から入学生を受け入れています。本年度、「川根留学生」は全学年で36人（うち1年生24人）になりました。本校の静かな環境と少人数教育の下、のびのび学習し、カヌーなどの特色ある部活動で元気に頑張っています。「川根留学生」は、今年度新たに川根本町が新設した若者交流センターや地域の民家に下宿し、通学しています。こうした地域の努力や協力により、充実した生活を送っています。

地域に根ざした教育活動

平成14年度に始まった連携型中高一貫教育もこの地域の魅力の一つです。地域内の本川根中学校、川根中学校、川根中学校と共に、チームティーチングによる交流授業や生徒交流、教職員研修を三本柱として実践しています。生徒への学習効果だけでなく、教員からも「中学・高校の両方の学習内容を把握でき、それぞれの指導に生かすことができた」といった感想が聞かれます。

「川根の郷の夢を語る会」話し合い
高校生の見事な司会に中学生感激!

また、交流事業として毎年2月に行う「川根の郷の夢を語る会」では、中高生が総合的な学習の時間で取り組んだ成果を発表したり、「川根地区を住みやすく元気な町にするには」という地域に根ざしたテーマで話し合いを行うなど、中高の連携を深めています。

川根の郷「夢」プロジェクト

さらに、川根本町と共催で地域連携事業「川根の郷『夢』プロジェクト」も実施しています。

このプロジェクトでは、町の協力を得て、年に2回の講演会や総合的な学習の時間が実施されています。総合的な学習の時間には左表のような取組を行い、地域の理解を深めています。

	対象	内容
総合的な学習の時間	1年	①茶摘み・製茶実習 ②地域の大人による講話 ③探究成果の発表
	2年	①地域資源の活用法 ②自然環境の学習 ③川根ユネスコエコパークツアーの提案・実践

このように、川根高校では、地元の町との連携や支援により、特色化を図り、学校の活性化につなげています。

【高校教育課】

夏休みにおける少年非行・被害防止

夏休み間近です。子どもたちの行動に関心を持ちましょう。

夏休み中は、子どもたちの生活リズムが乱れがちになり、例年深夜はいかい等の不良行為による補導件数が増加する傾向にあります。

昨年は、大阪府で深夜の繁華街をはいかいしていた中学生の男女二人が、殺人事件の被害者になってしまったという痛ましい事件が発生しました。

深夜はいかい等の不良行為は、犯罪の加害者や、事件の被害者になってしまうなど子どもたちにとって最悪の状況への入口となってしまうのです。

子どもたちが犯罪の被害者にも加害者にもならないよう、私たち大人が子どもたちの行動に関心を持ちましょう。

子どもたちをインターネットに潜む犯罪から守りましょう。

児童買春などの性被害に遭った子どもたちは、異性交際を目的とした出会い系サイトではなく、趣味の情報交換等を目的としたサイトを利用し、そこに潜む危険性に気付くことなく被害に遭っています。

このような被害を未然に防ぐためにも、インターネットに潜む危険性をまず大人がしっかり認識した上で、子どもたちに理解させる必要があります。

子どもたちと共に過ごす時間が増える夏休み中こそ、各家庭でインターネットの正しい使い方やマナーについて話し合い、家庭でのルールづくりを行いましょう。

また、携帯電話やスマートフォンなど、ネット環境につながる機器を子どもに持たせる場合は、有害なサイトへのアクセスを制限する「フィルタリング」を必ず設定しましょう。

違法薬物の危険性等について正しい知識を身に付けましょう。

危険ドラッグの販売店が、県内から無くなった一方で、インターネットを利用した違法薬物が販売されている状況が見られます。昨年京都府で発生した高校生と小学生の兄弟による大麻取締法違反事件は、報道にも大きく取り上げられ、青少年への違法薬物の広がりが懸念されています。

さらに今年は、県内においても中学生とその両親による覚醒剤使用事件が発生し、県民に大きな衝撃が走りました。

子どもたちだけでなく私たち大人も、違法薬物等の危険性・有害性に関する正しい知識を積極的に身に付けていきましょう。

問 警察本部少年課、最寄の警察署、各地区少年サポートセンター
☎0120(783)410

「わたしの主張2016」
～今、中学生が伝えたいこと～

「わたしの主張」は昭和54年の国際児童年をきっかけに開催され、今年で38回目を迎える歴史ある大会です。県大会の最優秀賞受賞者は、全国大会出場候補者として推薦されます。

今年は、県内各地の中学校から一万点を超える作品の応募があり、県内中学生の約8人に1人が参加する大会となりました。

県大会の出場者として選ばれた13人は、500人を超える聴衆を前に、自分の意見や未来への提案などを真剣に発表します。緊張しながらも、自分の思いを精一杯訴える姿は聴衆に感動を与えてくれます。

当日は、来場する中学生にも審査をお願いし、特別賞として「共感賞」を決めてもらいます。

この夏、ぜひ会場に足を運んで、中学生の生き生きとした主張をお聴きください。

■日程と会場
8月19日（金）
13時～16時
袋井市立中央公民館
（袋井市高尾754－1）

■アトラクション出演
○袋井市立袋井南中学校マーチングバンド
○エアロビチーム
エアーアローセブン演技
＊手話通訳・車椅子対応あり
＊申し込み不要・入場無料

問 社会教育課青少年班
☎054(221)3305

不登校やニート、ひきこもり等の悩みに応える 合同相談会

ニート・ひきこもり・不登校などで悩みを抱えている子ども・若者を支援する公的機関や民間支援団体が、相談ブースを用意し個別相談に応じます。

■日程と会場
8月6日（土） 浜北文化センター
（浜松市浜北区貴布祢291-1 ※駐車台数限りあり。できるだけ公共交通機関をご利用ください。）
8月20日（土） 静岡市教育センター
（静岡市葵区与一6-17-10　※駐車場有り）
9月3日（土） 三島市民生涯学習センター
（三島市大宮町1-8-38
※駐車台数限りあり。付属駐車場2時間まで無料。）
9月10日（土） 富士市教育プラザ
（富士市八代 1-1　※駐車場有り）

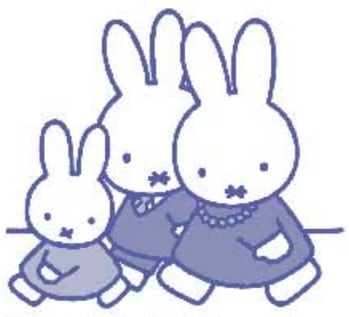
■時　間　12:30～15:30（4会場共通）
■対　象　○不登校やニート、ひきこもり、発達障害等で悩みを抱えているおおむね40歳までの本人やそのご家族。
○教職員等関係者
■参加団体　県ホームページに参加団体を掲載しています。
静岡県合同相談会　で　検索
※参加費無料・事前申し込み不要
問 社会教育課総務企画班　☎054(221)3163

静岡県立美術館企画展 美術館に行こう！
ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方

美術館に行こう！
ディック・ブルーナに学ぶ
モダン・アートの楽しみ方

絵本『うさこちゃん　びじゅつかんへいく』をガイドとして県立美術館のモダン・アートを楽しむとともに、ブルーナの様々な仕事を紹介してその魅力に迫る展覧会。赤ちゃんから大人まで大歓迎です。

■会　　期　平成28年7月9日（土）～ 9月8日（木）
■開館時間　午前10時～午後5時30分（入室は5時まで）
■休 館 日　毎週月曜日
（ただし7月18日（月・祝）は開館、翌19日（火）休館）
■観 覧 料　一般800円、70歳以上400円、大学生以下無料
■交通案内　JR草薙駅から静鉄バスで約6分



問 静岡県立美術館　☎054(263)5755

Illustrations Dick Bruna © copyright Mercis bv,1953-2016　www.miffy.com

〈教職員を対象としたメンタルヘルス相談窓口〉
○公立学校共済組合静岡支部（県内7箇所で受付け）　○公立学校共済組合本部　☎0120(783)269　○県教職員互助組合　☎0120(034)054　問 福利課 ☎054(221)3181

総合教育センター あすなろAngle

「アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメント」の活用を　Part2

◇リーフレット「アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメント」裏面もご覧ください！

第171号（5月9日発行）の本欄に掲載したPart 1では、アクティブ・ラーニングの基本的な考え方についてお伝えしました。今回は、授業改善のもう一つの視点となるカリキュラム・マネジメントについて説明します。

◇カリキュラム・マネジメントとは？

カリキュラム・マネジメントとは、教育課程を編成し、実施・評価・改善していくことです。具体的には各学校の教育目標の実現のために、子どもの発達段階や授業時数などの多面的な視点から、PDCAサイクルを確立することを意味します。

このカリキュラム・マネジメントでは、教科横断的・学年横断的な視点を持って教育内容を配列し、教育内容の充実に必要な人的・物的資源を地域等の外部にも求めて効果的に組み合わせるなど、社会や世界の状況を視野に入れ、社会とのつながりを意識した教育課程の実現が求められています。

◇私たち教職員にできることは？

管理職を中心としつつ、校内の全教職員でカリキュラム・マネジメントに取り組むために、教員一人一人が、日々行っている自分の授業等が子どもを総合的に育むために計画された教育課程の一つの要素であることを意識する必要があります。自分の授業等を年間指導計画上に明確に位置付けて他教科との関わりを確認したり、校内研修において、教科・学年・分掌といったまとまりごとに、教育課程との関係がどうあるべきかについて研究したりすることなどが考えられるでしょう。

◇アクティブ・ラーニングとの関係は？

アクティブ・ラーニングは子どもたちの質の高い深い学びを引き出すことを意図したものです。問題発見・解決を念頭に置いた深い学び、対話的な学び、主体的な学びの過程を持つよう授業を構想します。さらにこうした授業を積み重ね、カリキュラム・マネジメントによって教育課程全体を見渡すことで、総合的に子どもたちの資質・能力が育まれることになります。

◇リーフレットで何がわかるの？

リーフレットには、教科横断的な視点を持つことの意義や、具体的な取組の視点をイラストや文章で示しています。校内の全教職員がカリキュラム・マネジメントを理解することで、子どもたちが身に付けるべき資質・能力を効果的に伸ばすことができるでしょう。より良い授業を目指し、このリーフレットを最大限活用してください。

県立高校の生涯学習講座　平成28年度 後期受講生募集

県教育委員会では、社会人等を対象に毎年前期（5～7月）と後期（10～12月）に分けて生涯学習講座を開講しています。例えば、静岡中央高校のパソコン講座「基本から学ぶパワーポイント2013」は、講師が優しく丁寧に教えてくれるので、初心者でも安心です。

この他にも皆さんの興味関心に応えた、様々な講座が用意されています。この秋はぜひ、新しい学びに挑戦してみませんか。

■開講時期（後期）　10～12月の週1回（全8回、一部講座は全10回）

■開講講座（予定）
- 三島長陵高校　手作り料理教室、中国語、中国武術太極拳など
- 静岡中央高校　韓国語、水墨画、パワーポイント講座など
- 科学技術高校　骨盤体操、ワード年賀状作成、ヨガなど

■申込期間
- 三島長陵高校　8／17（水）～9／20（火）
- 静岡中央高校　9／ 1（木）～9／16（金）
- 科学技術高校　8／ 1（月）～9／ 2（金）

■受講料　5,600円～
※別途、教材費等が必要です。

■詳細・問合せ・申込
設置講座の内容や申込方法等は各高校によって異なりますので、詳しくは下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

静岡中央高校のパワーポイント講座

学校名（担当するPFI事業者）	電話番号／FAX
三島長陵高校　生涯学習振興室	TEL055（986）2000／FAX055（986）0570
静岡中央高校　生涯学習振興室	TEL054（209）2431／FAX054（209）2278
科学技術高校（（株）PFIするがの技）	TEL050（3541）8900／FAX054（262）9295

※ホームページは　各学校名　生涯学習講座　で　検索

潮風薫る焼津でカヌーに乗りませんか
みんなでソーレ！～カヌーだよ！全員集合～参加者募集

「家族や友人とカヌーに乗ってみたい」と思っている方に、ぴったりのイベントの紹介です。焼津青少年の家のカヌーは、8人乗りの大型カヌーで安定性も抜群です。海洋指導員が優しく丁寧に指導するので、安心してカヌー漕艇を楽しむことができます。家族や友人と力を合わせたり、海上からの景色を楽しんだりと、普段の生活では体験できない時間を過ごしてみませんか。

■開催日時
第1回8月21日（日）第2回9月11日（日）第3回10月2日（日）
※いずれの日も　午前の部　8時30分～12時まで
　　午後の部　12時30分～16時まで

■乗船条件
①3歳以上から乗船可。
②3歳以上の未就学児1人、3年生以下の小学生2人に対し、保護者1人の乗船が必要。

■参加費　1人300円（保険料、ドリンク代）

■募集人数　各回先着50人

■申込　各回とも電話で受付中

■申込締切り
第1回8月7日（日）第2回8月28日（日）第3回9月18日（日）
いずれも16時締切り

申・問　県立焼津青少年の家　TEL054（624）4675

観音山を楽しもう！～イベントのお知らせ～

【第2回観音山わくわくホリデー】

日帰りで家族や仲間と初秋の観音山を楽しんでみませんか？

午前中は、水鉄砲など、手作りの遊び道具を作ります。午後は観音山の自然を満喫できる活動を選択して行います。活動後は、お風呂を用意しますので、ゆっくり汗を流してください。

■日　時　9月18日（日）
■対　象　家族・仲間
■参加費　小学生以上1,000円程度（昼食付）
　　幼児以下 800円程度
■申　込　8月17日（水）午前9時から電話で申し込み
■定　員　50人程度（先着順）

水鉄砲づくり

作った水鉄砲で沢あそび

【観音山アドベンチャーキャンプ】

仲間と一緒に、観音山の様々な自然に触れてみませんか？「グリーン、ナイト、ウォーター」3つのアドベンチャーを通して、観音山の大冒険家をめざしましょう。

■日　時　10月22日（土）～23日（日）1泊2日
■対　象　小学校4・5・6年
■参加費　5,000円
■申　込　7月25日（月）～9月30日（金）※締切日必着
（郵送にて受付、指定申込書は観音山ホームページ〈http://www.inh.co.jp/~kannonyama/〉からダウンロード）
■定　員　120人程度（応募者多数の場合は抽選）

ウォーターアドベンチャー

グリーンアドベンチャー

問・申　静岡県立観音山少年自然の家　TEL053（545）0111
〒431-2201　浜松市北区引佐町東久留女木字観音山

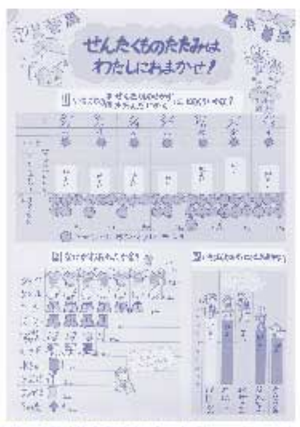
皆さんの気付き、疑問を統計グラフに！ 第65回静岡県統計グラフコンクール

統計は、テレビ、新聞、雑誌等で日常頻繁に活用・掲載され、多くの人の目に触れるところとなり、その重要性が増しています。しかし、統計を正しく読み取り、活用することは、社会人になれば誰でもすぐにできるようになるというものではありません。そこで、幼い頃から統計に触れ、親しむことが大切になります。

そんな統計を学ぶ足がかりとして、ぜひ「統計グラフコンクール」を活用してみてください。このコンクールでは、県内の小・中学生から一般の方を対象に、統計グラフを募集します。日々の生活の中の気付きや疑問を統計グラフにするため、子どもたちにとっては楽しみながら統計に触れることができます。また、コンクールに挑戦することで、物事を客観的に見る力が養われ、論理的に考える力も身に付きます。皆さまの応募をお待ちしております。

詳しくは、各学校に配付された募集要領又は県統計キッズページ「グラフ博士のとうけい工場」（http://toukei.pref.shizuoka.jp/kids/）をご覧ください。

問　県政策企画部統計利用課　TEL054（221）2298



静岡県教育長賞第1部（1～2年生）

"E"DITOR

ふとした瞬間に、子どもの頃よく聞いていた曲を思い出します。私が最近思い出した曲は、「モーニング娘。」の『ザ☆ピ～ス！』です。

7月10日（日）は、第24回参議院議員通常選挙です。18歳以上の皆さん、選挙へGO！

中学高校6年間とこれまでの選挙は"皆勤賞"が自慢です→（わ）

幼児教育推進　マスコットキャラクター作品募集！

静岡県では、幼児教育の重要性を広く共有し、幼児教育への県民意識の高揚を図るため、マスコットキャラクターを公募します。

かわいらしいマスコットをお待ちしていますので、ふるってご応募ください。

詳しくは、ホームページ「静岡県就学前教育情報発信サイト『わっ！』」（https://sites.google.com/a/neg.edu.pref.shizuoka.jp/youji/）をご覧ください。

申・問　県幼児教育センター　TEL054（221）3287

第10回 ウィズガス 全国親子クッキングコンテスト
ぜんこくおやこ
炎の調理で五感を研ぎ澄ます

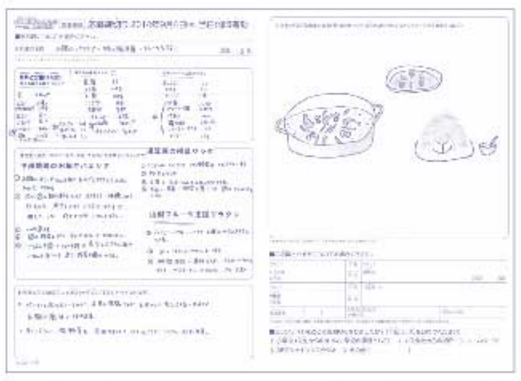
昨年の静岡県大会の様子（10/18静岡市）

『食』を通じて親子のコミュニケーション向上を！キッチンから家族の絆を。
ぜひ、学校での課題としてご活用ください
応募された方にもれなく参加賞（オリジナルクリアファイル）をプレゼント
ご応募多数の学校には「学校賞」をご用意しております。
広告

9/25（日）県内5会場で地域予選大会
静岡県内の参加親子大募集！

応募受付期間
2016年6月19日（日）～9月2日（金）

［お問い合わせ］静岡県大会運営事務局
静岡ガス内　TEL.054-284-7980
（応募用紙のご希望・お問い合わせはお気軽に）
http://www.gas.or.jp/shokuiku/


応募用紙記入例

学校での活動の推進などにより、食育への関心は高まり、昨年は静岡県内で9,901組（4年連続全国最多・全国では50,037組）の応募をいただきました。クラスや学年全体で夏休みの課題として応募していただく学校も増えています。

（小学校の先生たちの声から）
コンテストに参加することで、子供達の食に対する意識も変わり、朝食を食べる生徒が増えたり、給食の残量が減る効果がありました。

主催　静岡県大会　静岡県ガス協会（全国大会　ウィズガスCLUB）／後援　総務省　文部科学省　静岡県　静岡県教育委員会　全国小学校家庭科教育研究会　（公社）静岡県栄養士会　（公財）しずおか健康長寿財団 ほか

Eジャーナルしずおかは47,000部発行　市町教委等のご協力により、静岡県の全ての公立学校等教職員一人一人に配布されています。　図書館や公民館等にも配架され、どなたでもご覧いただけます。